

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	クレヴィア長岡天神	階数	地上15F
建設地	京都府長岡京市天神1丁目415番40	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、第二種住居地域,準	平均居住人員	124人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年1月 予定	評価の実施日	2023年12月12日
敷地面積	1,391㎡	作成者	株式会社エム・ケイ設計事務所 代表取締役 桂
建築面積	420㎡	確認日	2023年12月12日
延床面積	3,922㎡	確認者	関西ビジネスインフォメーション株式会社 島田



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
<p>BEE = 2.2</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% ②建築物の取組み 68% ③上記②以外の 61% ④上記+ 61%</p> <p>0 46 92 (kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Q のスコア = 3.3</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 3.6</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.4</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 2.8</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LR のスコア = 3.9</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 4.4</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.6</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.5</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>高効率機器及び高性能の断熱材を積極的に採用し、省エネルギー性に配慮したほか、冷暖房負荷を軽減することで、環境負荷の低減を図った。</p>		<p>その他</p> <p>特になし</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>専有部には自然換気が十分に確保できる大きさの窓を確保し、快適性の向上を図った。また、F☆☆☆☆の部材を積極的に採用し、居住環境の向上を図った。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>配管材料については耐久性の優れた材料を採用し、維持管理が容易な窓の配置計画及び材料の選定を行うことで、性能が長期間にわたり保たれるように配慮した。</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>敷地内には可能な限り緑化を設けることで、季節を感じられるよう樹木を配置した。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>断熱材は高断熱能のものを使用することで、すべての住戸において品評法等級4を超える水準の断熱性能を確保した。また、建物内設備にはLED照明等の高効率設備を採用することで、建物から発生するエネルギー量の低減に努めた。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水機器を積極的に採用したほか、将来の更新及び修繕の計画が容易となるように配慮した。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>ライフサイクルCO₂を低く抑えることにより、長年にわたり環境負荷を軽減し地球温暖化の防止に付与できる建物となるように配慮した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される